

1

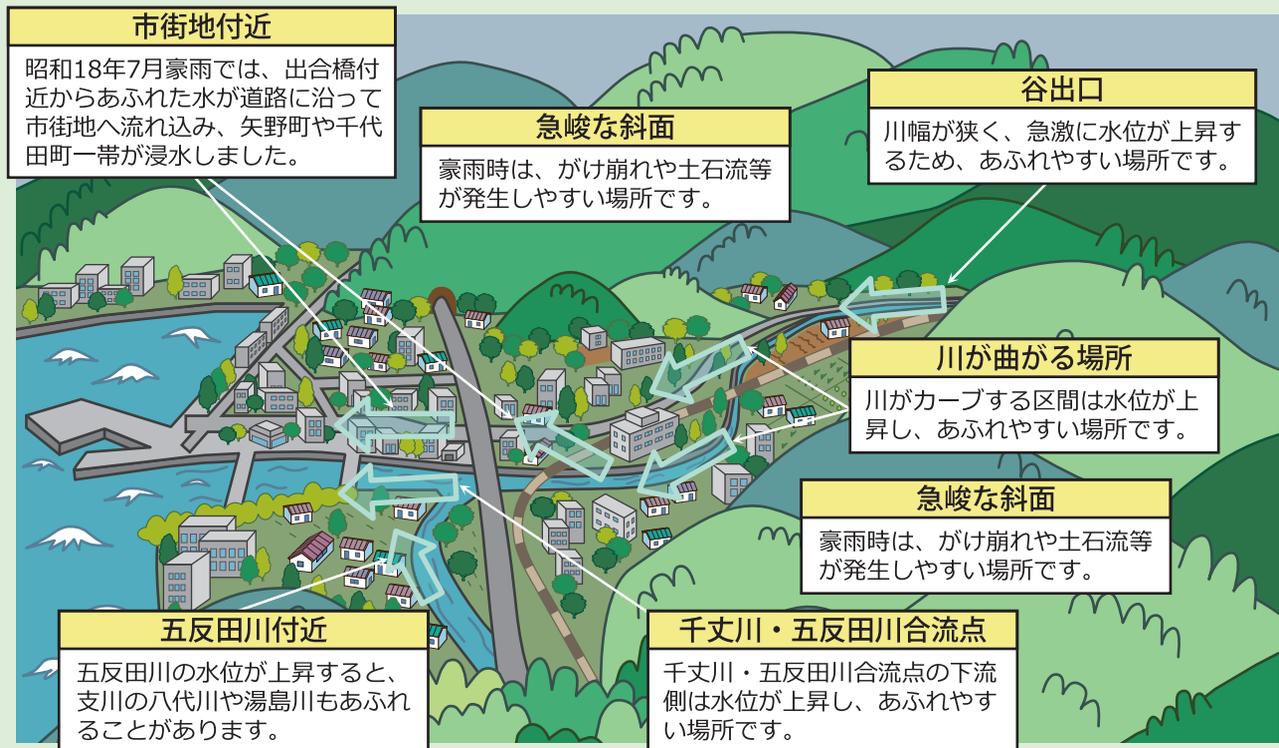
千丈川の水害特性を覚えてください（事前準備①）

1 千丈川は 流域面積が小さいため、延長が短く、川幅も狭い中小河川です！

- 流域のほとんどが急峻な地形です。上流域は河床勾配が急で、谷幅が狭い中山間地を流れ、下流域は細長く狭い平地部に形成された市街地の中を流れています。

2 千丈川は 豪雨や台風による洪水被害が発生しやすい河川です！

- 山間部で降った雨が市街地に到達するまでに約1時間と短く、今までに経験したことのない大雨時には**急激に水位が上昇し、短時間で市街地全体が浸水する可能性**があります。
- 千丈川の氾濫から**安全に避難するには「早め早めの避難行動」が重要**です。



千丈川流域の水害イメージ図
(地形条件、既往水害を参考に作成しています)

3 千丈川は 古くから洪水氾濫を繰り返してきた河川です！

- 今から約70年以上前の昭和18年7月豪雨では、**千丈川や五反田川から水があふれ**、家屋の倒壊、田畑の流失など甚大な被害が発生しています。
- 近年では、平成16年台風第16号の際に、新開町等で**局所的に床下浸水が発生**しています。

八幡浜市における主な洪水災害

発成年月	要因	経過年数
1884(明治17)年8月	豪雨	133年前
1901(明治34)年7月	豪雨	116年前
1920(大正9)年6月	豪雨	97年前
1943(昭和18)年7月	豪雨	74年前
1980(昭和55)年9月	台風第13号	37年前
1993(平成5)年9月	台風第13号	24年前
2004(平成16)年8月	台風第16号	13年前

昭和18年7月豪雨における市街地の洪水氾濫の様子



【千代田町】 通りが浸水しているため小舟で移動しています。



【八幡神社前】 氾濫流が勢いよく道路を流れています。